

食品ロスを減らすために

日本では、食べ残しや食べられるのに捨てられている食品、いわゆる「食品ロス」が年間約 500 万～ 800 万トンも発生しています。

久慈地区でも、ごみ焼却場に搬入される年間約 16,800 トンの可燃ごみのうち、約 15.5%、2,600 トンあまりが生ごみなどの厨芥類と見込まれています。ごみとして捨てられる生ごみなどには、まだ食べられる食料品も多量に含まれています。

食品ロスを減らすため、一人ひとりができることから取り組んでみませんか。

サンマルイチマル ☆3010運動

3010運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、

＜乾杯後30分間＞は、
席を立たずに料理を楽しみましょう！

＜お開き10分前＞になったら、
自席に戻って、再度料理を楽しみましょう！

と呼びかけて、食品ロスを削減する運動です。

職場や知人との宴会などで「もったいない」を心がけて宴会を楽しみましょう。



☆消費期限と賞味期限

食品のパッケージに記載されている＜消費期限＞と＜賞味期限＞の違いを知り、いつまで食べられるかを確認することで食品ロスを減らすことにもつながります。

＜消費期限＞
＝安全に食べられる期限

＜賞味期限＞
＝おいしく食べられる期限

買い物前に冷蔵庫の在庫チェックをするなどして必要な食材だけを購入するよう心がけ、食品を無駄なく使い切りましょう。

消防活動へのご協力に感謝いたします

平成 30 年に消防活動へご協力いただいた方々に感謝状を贈呈しました。

迅速、的確な行動により、延焼拡大の防止、人命救助にあたることができました。大変ありがとうございました。

【感謝状を贈呈した方々】

○火災の延焼防止、初期消火への協力

中下 幸雄さん（久慈市夏井町）、有限会社谷地林業さん（久慈市山形町）、米内 喜代子さん（久慈市大川目町）、米内 竹男さん（久慈市大川目町）、藤森 マサさん（久慈市大川目町）、藤森 喜代松さん（久慈市大川目町）

○人命救助への協力

太田 一世さん（八戸市日計）、太田 俊也さん（久慈市小久慈町）、畠山 タイ子さん（久慈市小久慈町）、澤口 敬志さん（久慈市山形町）

災害応援協定を締結しました

広域連合と岩手県久慈地区生コンクリート協同組合は、平成 30 年 12 月 26 日（水）に「災害時における消防用水の確保に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模な火災が発生して消火用の水が不足した際に、コンクリートミキサー車に水を積んで火災現場に運んでもらうという内容のものであります。

協定の締結により、迅速な要請と円滑な支援活動が可能となり、大規模火災時に消防用水が確保され、被害を最小限にとどめることが出来るようになります。



左から遠藤謙一広域連合長、竹田和正理事長

久慈広域圏の人口と世帯数 (H 31.1.1 現在)

(単位：人・世帯)

市町村名	人 口	世 帯 数
久 慈 市	3 5 , 1 9 9	1 5 , 6 7 0
洋 野 町	1 6 , 8 2 4	6 , 8 5 3
野 田 村	4 , 2 5 1	1 , 6 3 7
普 代 村	2 , 7 2 1	1 , 1 4 7
合 計	5 8 , 9 9 5	2 5 , 3 0 7

◎編集・発行

久慈広域連合
事務局総務企画課

〒028-0056
久慈市中町一丁目67番地
久慈市役所分庁舎2階
☎0194-61-3344
<https://www.kuji-kouiki.jp/>

問い合わせ先

総務企画課 0194-61-3344
介護保険課 0194-61-3355
衛生課 0194-66-9090
久慈消防署 0194-53-0119
山形分署 0194-72-3119
野田分署 0194-78-2119
普代分署 0194-35-2119
洋野消防署 0194-65-6119
大野分署 0194-77-4119